

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年7月23日

事業所名 児童デイサービス・アニマートぎのわん

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4				
	2	職員の配置数は適切である	3	1		・働きやすいよう配慮がされている。休暇も取りやすいように工夫されている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4			・配慮されている。更に駐車場から屋内に入る際のスロープがあればより良いと思う。	必要に応じて検討していきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4			・朝のMTGで話し合っている。	今後も継続し、業務改善に努めます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4				今後も継続し、業務改善に努めます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	1			毎年HPIにて公表しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	2			不備のないように努めます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4			・研修の案内がある。	研修を受講できる機会を増やせるように努力します。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4			・話し合い決めたりしている。 ・分析し、一人ひとりの支援が計画されている。	定期的に保護者、利用児童、職員から聞き取りを行い、作成しております。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4			・毎朝のMTG内で話し合っている。 ・チームで行っている。	定期的に職員で活動内容について話し合う時間を設けています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4			・新しいものを取り入れる工夫がされている。	利用児童の特性に合わせて、職員間で日々話し合い、常に改善する努力をしています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4			・その時期に応じた内容、課題、興味などを細かに支援されている。	活動ごとにねらいを定め、利用児童の成長を促してきました。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4			・毎日の計画の中で作成されている。	利用児童に合わせて、個別活動と集団活動を組み合わせています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	1		・行っているが、まだ十分とは言えないところがある。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4			・朝のMTGなどでその都度共有している。	常に振り返りを行い、支援の質の向上に努めます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4				

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4			・具体的事例を挙げて、スタッフ間で共有し、見直しの判断をしている。	定期的に家庭、学校での様子などを聞き取り、計画書の改善に努めております。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	4				未回答1 定期的にガイドラインの再確認に努めます。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4			・最もふさわしい、また経験豊富な者が参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4			・情報収集、共有、調整を行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			4	・現在、対象児がいない。	今後必要に応じて対応いたします。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4				
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している			4	・現在移行する年齢の児童がいないため、その様子を見たり経験することがない。会議の中で十分に行えると思う。	必要に応じて対応いたします。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている			4		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	2		・外出支援、公園遊びなど、交流する機会があるときは積極的に交流している。	感染防止に努めた上で、検討いたします。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	3			勉強会など職員の参加を促しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4			・毎回、申し送りにて確認している。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	2			今後も支援の質の向上に努めます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4			・相談があった場合は、スタッフで話し合い、保護者へ助言・支援している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	2	1	・保護者参加のイベントがある。	今後検討いたします。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3	1			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4				今後もHPを活用し、ブログにて発信していきます。
	35	個人情報に十分注意している	4				今後も取り扱いには十分注意していきます。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4			・絵カードなどを使ったり、サインを決め情報伝達の配慮をしている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	2		・地域との交流はあるが、招待するに至っていない。 ・ハロウィンイベントでは地域の方と交流する機会があった。	感染防止に努めた上で、検討いたします。
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4				保護者への周知に努めます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4			・年2回訓練している。 ・万が一に備え、バギーを準備している。	火災、地震、津波、感染症を想定した訓練を実施しております。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4			・虐待防止マニュアルなどを活用し、研修している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4			・現在、対象児がいない。 ・MTGでは身体拘束にならないよう支援の工夫が話し合いされている。	これまでに対象となる児童はいませんが、今後も職員への周知に努めます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4				
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2	2		・事業所内、系列事業所で情報共有している。	共有に努めます。